

まち角通信

令和3年6月10日発行

(第32号)

発行 運営体事務所
電話 55-4808

今年度の事業 予算が承認されました

書面議決の集計結果

丁内選出代議員 全代議員数166名のうち107名の提出
運営体役員 26名のうち25名提出 132/192≒68.8%

第1号・第2号議案 賛成132名
第3号・第4号議案 賛成132名

《参考》丁内数-提出数-未提出数
北ブロック 12-12-0 中央ブロック 13-10-3
西ブロック 8-8-0 東ブロック 20-16-4
南ブロック 15-13-2

丁内イベント等支援事業

丁内独自に開催するイベント等に支援をします。
予算3分の1で、最高3万円。ただし飲食等に支援できません。
希望の丁内は運営体にある申請書に記入の上、お申込みください。

花で彩るまちづくり事業



プランター募集は6月4日に締め切りでしたが、この後太田種苗店さん、佐藤種苗さんからそれぞれの丁内に設置される予定です。
昨年は見事に花を咲かせたプランターが多かった中、残念ながら枯れたプランターがあるとの苦情も寄せられています。お手数をおかけしますが設置後の管理・水やり等は各町内・個人でお願いします。



こちらは昨年の写真です

しだれ桜のライトアップを実施しました

昨年は新型コロナウイルスの流行が始まり、未曾有の災禍の中、様々な事業が中止されました。当運営体も桜のライトアップ他多くの事業を中止しましたが、今年は疫病退散を願い、また地域を明るく元氣付けたいという思いもあり、ライトアップを実施しました。
地域の方々からは喜びの声を多数いただきました。
来年は是非皆様も見に来てたんせ。

大塚「妙徳寺」
三本桜



上新町「天寧寺」
しだれ桜



駅前ロータリーの
しだれ桜



田町「松庵寺」
桜



大変残念な事件が発生

記念植樹の桜が切られました

【切られた桜】
角館のシンボル古城山に市民が記念に植えた「桜」が心ない人によって根元から切り取られ、斜面に投げ捨てられたこのことは「桜」「武家屋敷」を観光の目玉にしている市民にとっては「寝耳に水」信じられない出来事でした。
今頃、この桜を切り捨てた貴方の心はどう思っている毎日でしょうか！「桜を愛でる」気持ちはどこかへ追いやってしまいましたか！「桜」に恨みがあつたのですか。私たちは悲しみにくれております。
もうこのようなことはやめて、穏やかに心静かにしていただく。



ヤブに捨てられた関山の木



切断された関山の根本

2018年、この「まち角通信」に古城山に植樹をするという記事があった。何か記念のある人は申し出るようにとのことだった。丁度88歳の米寿であったので迷うことなく応募した。幸い選に漏れることなく植えることが決まった。植樹式も現地で行われ、自分の手で植樹ができ、用意されたプレートも付け終えると、自分の木がこの公共の場所にあるという感覚で嬉しいしありがたく申し訳ない気持ちでもあった。

翌年にはまだ咲いているはずもないが、家族6人花の咲く時期に山に登りこの木を紹介した。更に次の2020年枝垂れ桜が咲いている中来てみたが標高が高いせいで低温であるし、まだ咲く気配がなかった。そして今年、4月7日午前天気もよいのでどんな具合か花を待ちかねる気持ちで行った。時期的には早いから勿論咲いているはずはないが、花芽のようなものがついていた。これは今年は咲くだろうと意を強くし、心待ちにして帰ってきた。

先日、突然運営体の小林郁男さんが来られて云いにくそうに、木が切られていた事を知らされた。「えっ!!!」と絶句した。なぜ、誰が、どうして・・・そんなことがあるはずない。などと思ひもかけないことに、ただ驚いた。他地域では文化財に傷をつけたりする反社会的行為があるようだが、こころ辺ではそんなことがなくて良いなあと思っていただけに意外に思った。そして腹立たしくなり怒りがわいてきた。と同時に沢山植えてある木の中でどうして私が植えたのがターゲットになったのだろうか。名札をつけていたから、私に怨みであるのだろうか。と、あれこれ考えてみたが思い当たることがない。会長さんは、個人的なことではないだろうと言っていたが、何か落ち着かないし薄気味悪い。「腹ワリ」が治まるとどうしようもなく悲しくなった。こんなことをする人はどんな人だろうかとも思った。会って話を聞いてみたい気がした。「あんな木切ってしまえ」などと云うことがあっても、それを実行する人は全くというほどいない。この人も強力な意思を持って切ってしまったものの、今頃後悔しているのではないだろうか。是非そうあってほしいと思う。(鈴木)

「今年も綺麗に咲きました」とコメントを添えて同級生のグループラインに写真をUP。
花の付きも良く、見応えが増してきた「関山」に喜びの返信が返って来ました。

還暦記念として同級生の有志で参加し植樹した八重桜の木
の成長を皆は楽しみにしていて、毎年花が咲いた時期には勿論のこと、古城山の下刈りに行った時、雪が解けた春先にも写真をラインにUPして木の無事な成長を報告してきました。今年も、各地の桜の開花が早く、角館も同様に周囲は早々に満開となり「我々が植えた桜も見頃を迎えたのでは」と確認を催促する連絡がありました。そこで5月1日に登ったのですが、咲き始めだったのでまだ早く、昨年満開となっていた同じ5月7日の午後に出直したところ満開で、週末には見頃になっていているなど思いながら皆に冒頭の報告をしたのです。まさか、その2日後に満開の花を付けたまま伐採放棄された無残な姿になっているなどとは思っていませんでしたし、それを聞かされた時には悪い冗談でからかわれていると思われ、伐られた写真を見せられる迄信じることが出来ませんでした。現場へ行き現実を目の当たりにした時、同級生達がこの事を知りどんなに落胆し悲しむか、と思うとどう伝えたものかと考えました。いつそのこと自分からは知らせず、報道等で耳に入るまで黙ってようかということも頭をよぎりましたが、この悲惨な事実をそのまま伝えることが3年間折に触れ木の成長を報告して来た自分の役目と思い直し、無残な姿を写真に撮りグループラインで報告しました。

ラインを見た同級生達からは当然、落胆、悲しみ、怒りの返信でした。

還暦という節目に植樹をし、植えた桜と共に年を重ね、古希、喜寿等の節目に、角館への帰省時に、大きく成長した下での花見等の様々な皆の楽しみが断たれてしまったのです。たった一本のまだまだ細く若い桜の木は我々の思い、期待と共に大きく育っていくはずだったのに心無い残酷な行為によって倒されてしまいました。

例え、新たに木を植えることが出来たとしても、この事件は記憶から消えることは無いでしょう。
コロナ禍の明るい話題の少ない中、追い打ちを掛けるようなこのような行為は信じられません。
今後二度と同じようなことが起きぬよう、願うばかりです。(田口)



きれいに咲いたまま地面に落ちている花



前日までは3本並んで満開に咲いていました

樹の心

私たち、三兄弟は数年前この地へ移転してきました。

兄と弟は桧木内川や武家屋敷の見える部屋にいつもいて、私は女なので奥の部屋にいます。でも、晴れた日には鳥海山も見られます。

数日前、兄と弟は何者かに一刀のもとに切られました。私は一部始終を見ているけど、話すことは出来ません。

ただただ、泣いている毎日です。

(菊地)